

小林真紀子

## 遠く咲く花

何を言っても傷つけ傷ついてしまいかもしれないと  
あなたはただ爪の一枚一枚に黄桃色の花を描いていた  
彼女だけのことばだった  
風舞う花びらが頬に優しくふれた  
私のことばは遠くでどんなふうに咲いているだろう